

特記仕様書

第 1 章 総 則

第 1 節 適 用

- 1 本特記仕様書は、設計第 2 0 9 号 公共下水道事業(公08-4-4)管渠布設工事【開削 4 工区】 に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・土木工事共通仕様書 (令和 7 年 8 月 広島県)
 - ※土木工事共通仕様書は「広島県の調達情報」に掲載されている。
URL:<http://choutatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>
 - ・その他関連規格類

第 2 節 中間検査

請負金額2,000万円以上の工事は、中間検査の対象とする。
中間検査の実施は、工事の主要工程等を考慮し、施工上の重要な変化点等で行うこととし、時期選定は監督職員が行う。

第 3 節 主任技術者の配置要件等

広島県共通仕様書1-1-3-2 現場代理人及び主任技術者又は監理技術者「5. 配置要件」及び「6. 誓約書」については、入札条件又は入札公告に定める配置技術者の兼務の要件に従うこと。

第 4 節 法定外の労災保険の付保

- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- 2 受注者は、建設工事請負契約約款第47条に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- 3 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

第 2 章 施工条件

第 1 節 公害対策

1 濁水防止施設

内 容	濁水対策として必要最小限の仮締切工と締切排水工を見込んでいる。
期 間	締切排水期間は、作業時排水として、1 日を見込んでいる。

第 2 節 安全対策

1 交通誘導員・保安要員

内 容

交通誘導警備員を235人（3人/日）配置することを見込んでいる。
施工に当り、配置計画等を監督職員と協議すること。
交通誘導警備員を配置した場合、配置写真、伝票コピー及び日報を提出すること。

第 3 節 公共ます設置

1 設置位置

公共ますの設置位置について、設置前に申請者に確認を取ること。位置の変更については、原則道路境界から1mを超えない範囲とすること。

2 提出書類

工事完了後は、マンホールオフセット図及び取付管調書を作成し監督員に提出すること。

第 4 節 その他

1 用排水関係

- 1 隣接する土地、施設からの用排水については、事前に高さ等の調査を行い、従前の機能を損なわないようにすること。
- 2 農業用排水路の移設や仮水路を施工する際には、施工時期等について水路関係者と調整を行い実施すること。
- 3 工事により生じた排水を農業用排水路へ流す際は、水路関係者に承諾を得ること。

2 既設舗装厚の確認

既設舗装厚が設計値と相違している場合は、舗装版はぎ取り時に監督員の立会を求め確認を受けること。

設計数量については、監督員の立会により確認を受けた既設舗装厚及び展開図により算出するものとし、マニフェスト及び計量証明の数量については参考値とする。なお、局所的な舗装厚の増加については設計変更の対象としない。

第 3 章 その他

- 1 本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員の指示を受けること。

- 2 工事着手前に漁業組合と協議を行い、同意書等の承諾を得ること。

- 3 試験掘り箇所については監督職員と協議を行い決定すること。

- 4 本工事は、週休2日適用工事（発注者指定型）であり、「三次市週休2日適用工事等実施要領」に基づき実施すること。

- 5 工事期間中は、道路表面の状態をよく確認して適宜補修する等、適切な維持管理を行うこと。

- 6 受注者は、隣接して実施される開削3工区の施工に当たり、相互の工程調整、施工箇所の調整、交通処理及び安全対策について、関係受注者間で密接な連携を図り、現場運営に支障を生じさせないように適切に対応しなければならない。

また、沿線住民その他関係者の日常生活及び通行の確保に十分留意し、車両通行、歩行者通行、車両の出入り、駐車車両への対応並びに交通誘導について、混乱の生じないように円滑な処理に努めるものとする。

工事の施工に先立ち、施工時期、施工箇所、交通規制の内容、迂回方法その他必要事項について、沿線住民等に対し、適切な周知及び丁寧な説明をおこない、苦情の未然防止に努めなければならない。